

教校部「大経講読」濱畑僚一

「大経講読」では、『浄土真宗聖典全書第一巻』を使い『仏説無量寿経』を拝読していきます。漢文聖典を拝読することになりますので、それぞれ漢和辞典を自宅にあるものでも構いませんので、自宅での拝読に使ってください。

また、本願寺出版社・中公文庫・岩波文庫などから、「無量寿経」の書き下し文や現代語訳が出ていますので、必要な方は参照してください。

ところで、私は聖典の一つ一つの御言葉には歴史があると教えていただきました。そうした事を学ぶ為には、長尾雅人先生や藤田宏達先生や辛島静志先生など仏教学の専門家の本が参考になると思います。

「大経講読」は、前年度まで「三経講読」でしたので、講義の最初に『仏説観無量寿経』『仏説阿弥陀経』の概要にもふれたいと考えています。その後、『仏説無量寿経』の御文を、「無量寿経の異訳（『浄土真宗聖典全書第一巻』所収）」も時々参照しながら、1年間で拝読させていただく予定です。

2026年度は、昨年度の続きとして、四十八願のところから始めます。